

御中

危険予知訓練 4R

68

グループ名 (チーム名)	[Redacted]			課	A班 G
実施日	2011年 2月 22日			No.	工場シート 脚立で壁に表示板
第1ラウンド: 現状把握(どんな問題(危険)があるか)潜在危険を発見・予知し、「危険要因」とそれによって引き起こされる「現象」を想定する。 第2ラウンド: 本質追求(これが問題(危険)のポイントだ)発見したら、「重要危険」に○印。さらに絞り込んで、特に重要と思われる「危険のポイント」に◎印。					
◎◎	No.	「危険要因」と「現象(事故の型)」、「対象部位(被災箇所特定)」を想定して「～なので～して～になる」というように書く。 【注意】否定形(～でなく、～していないので)では書かない。抽象的な表現にならない。 危険要因と現象をアリアリと表現しよう。			
	1	表示板を持って脚立を上がっている時、壁側に持った表示板が壁に当たり、反動で脚立ごと傾いて転落する。			
	2	表示板を壁に掛けようとして手を伸ばしたので、表示板の重さに耐え切れず、前のめりになって脚立が傾き転落する。			
	3	表示板の取り付け穴を合そうとして、表示板を顔の方へ持ち上げたので、顔に当たりそうになり、身体を後ろへかわして脚立を踏み外し転落する。			
	4	表示板を付け終わり脚立を降りた時に、近くに表示板を置いてあるので、足で踏みスベリ転倒する。			
	5	下に置いてある表示板を取ろうとしてかがんだ時に、脚立と表示板が近いので、後ろの脚立にお尻をぶつけて、前へ転倒する。			
	6	表示板を付けるために持ち上げて手をもち替えたので、身体の重心が変わり表示板が傾き、あわてて取ろうとして脚立から足を踏み外し、転落する。			
	7	表示板を両手で持っているので、足元が見えず脚立を踏み外し、転落する。			
	8				
	9	～して ～した時何かをうっかり倒れかけよう。			
	10	例として、脚立を倒れかけた時に足で踏み外す時～などです。			
第3ラウンド: 対策樹立(あなたならどうする)「問題(危険)のポイント」◎項目を解決するための「具体的で実行可能な対策」を考える。 第4ラウンド: 目標設定(私たちはこうする)「重要実施項目」を絞り込み※印。さらにそれを実践するための「チーム行動目標」を設定する。					
◎印のNo.	※印	No.	具体策		
2	※	1	踏み台を使用する。 ← 29階階を回避 出歩かいたら?		
		2	二人で作業し、踏み台の補助をする。 ← 「表示板の正面に脚立を置いて作業する」		
		3	脚立の天板に乘らずに作業する。 ← 具体的対策にないから。 踏み台(脚立)を壁に掛ける		
		4	危険を感じたら、一旦作業を中止し、一呼吸置く。 ← 具体策にはない		
7		1	表示板を仮置きする補助台を使用する。		
	※	2	補助者をおき、表示板を受け取る。		
		3	踏み台を使用する。 具体的にどの部分に補助台を置く。		
チーム行動目標 (～を～して～しよう ヨシ!) 高所作業時は、足場の安定した踏み台を使用して、2人で作業しよう ヨシ! → 具体的な表現としてください。					
[確認] 指差呼称項目	踏み台を使用し二人で作業する ヨシ! このポイント指差呼称項目は「2人で作業」 踏み台使用のみに作業を認める(という)。				
※イラストシート添付	事務局 (環境・安全部)	部推進者	課推進者	リーダーおよびメンバー (リーダーの先頭に◎をつけてください)	
	コメント ① 危険要因と現象をアリアリと表現して下さい。 ② 対策は具体的で実行可能なものを考えて下さい。 IR 2/28 誰かが読んでくれるように アリアリと表現して下さい。文章が長くあってもOKです。				

3名で作業時の大変さを抑えるため、作業台を壁に掛ける  
という対策も検討して下さい。

どんな危険がひそんでいるか



### 状況

あなたは、脚立を使って壁に表示板（縦80cm 横40cm 高さ2cm 重量2kg）を取り付けている。



御中

危険予知訓練 4R

70

グループ名 (チーム名)	N) 1-4 (G) 有酸素 A 班		
実施日	2011 年 2 月 22 日	No.	3(写真)

第1ラウンド: 現状把握(どんな問題(危険)があるか)潜在危険を発見・予知し、「危険要因」とそれによって引き起こされる「現象」を想定する。  
 第2ラウンド: 本質追求(これが問題(危険)のポイントだ)発見したうち、「重要危険」に○印。さらに絞り込んで、特に重要と思われる「危険のポイント」に◎印。

◎◎	No.	「危険要因」と「現象(事故の型)」、「対象部位(被災箇所特定)」を想定して「～なので～して～になる」というように書く。 【注意】否定形(～でなく、～していないので)では書かない。抽象的な表現にならない。
◎	1	キャスト付の椅子の上で背のびした時計を外そうとしているので椅子に前後の力が掛かり後ろに動いて落ちる。 前向きには?? どちらが12時(15時)
	2	時計を外そうと背のびをした時、椅子が後ろに動き前のめりになり、壁で思い切り顔を打つ。
◎	2	開発室の扉が開いてドアを開けてきた時に出てきた人の足が椅子の背に当たった時に転落する。
	4	めいっはい体を伸ばして時計を外そうとしているので時計を握りかき強く手が滑り、頭の上に時計を落とす。 何をしたか? 背のびをした時に、椅子の背に当たった時に、椅子の背に当たった時に、椅子の背に当たった時に
○	5	椅子の背のびした時に足が椅子の背に当たった時に椅子が倒れる。 椅子の上に上がった時、椅子の背に当たった時に、椅子の背に当たった時に
	6	時計を外そうと背のびをした時、後ろ向きに椅子が動いて転落する。
	7	上を向いて時計を外していた時、時計の上を滑り落ちてくる。

第3ラウンド: 対策樹立(あなたならどうする)「問題(危険)のポイント」◎項目を解決するための「具体的で実行可能な対策」を考える。  
 第4ラウンド: 目標設定(私たちはこうする)「重要実施項目」を絞り込み※印。さらにそれを実践するための「チーム行動目標」を設定する。

◎印のNo.	※印	No.	具体策
1, 3	※	1-1	脚立を持ってきて2人作業する。 ← 脚立を使用し、1人は脚立が動かぬよう抑える。のぶ良
		1-2	壁に椅子を近づけて作業する
		1-3	時計の位置を下げる。 ← good!
		1-4	背のびに強さ
	※	3-1	開発室の中の人に、作業開始を告げ注意喚起する ← 「注意喚起」は声ではなく、作業にはここを伝えることである。
		3-2	開発室の中の人に、作業開始を確認してから作業する。 前者は具体的ではない、このように記載しなさい。
		3-3	監視人を付ける。 行動目標がわかるように。

チーム行動目標 (～を～して～しよう ヨシ!!)  
 脚立を使用し開発室の中の人に注意喚起をしてから2人作業しようヨシ!!

【確認】指差呼称項目  
 脚立を使用し2人作業ヨシ!! ← 脚立を動かすヨシ...とか

事務局 (環境・安全部)	部推進者	課推進者 管理職	リーダーおよびメンバー (リーダーの先頭に◎をつけてください)
-----------------	------	-------------	------------------------------------

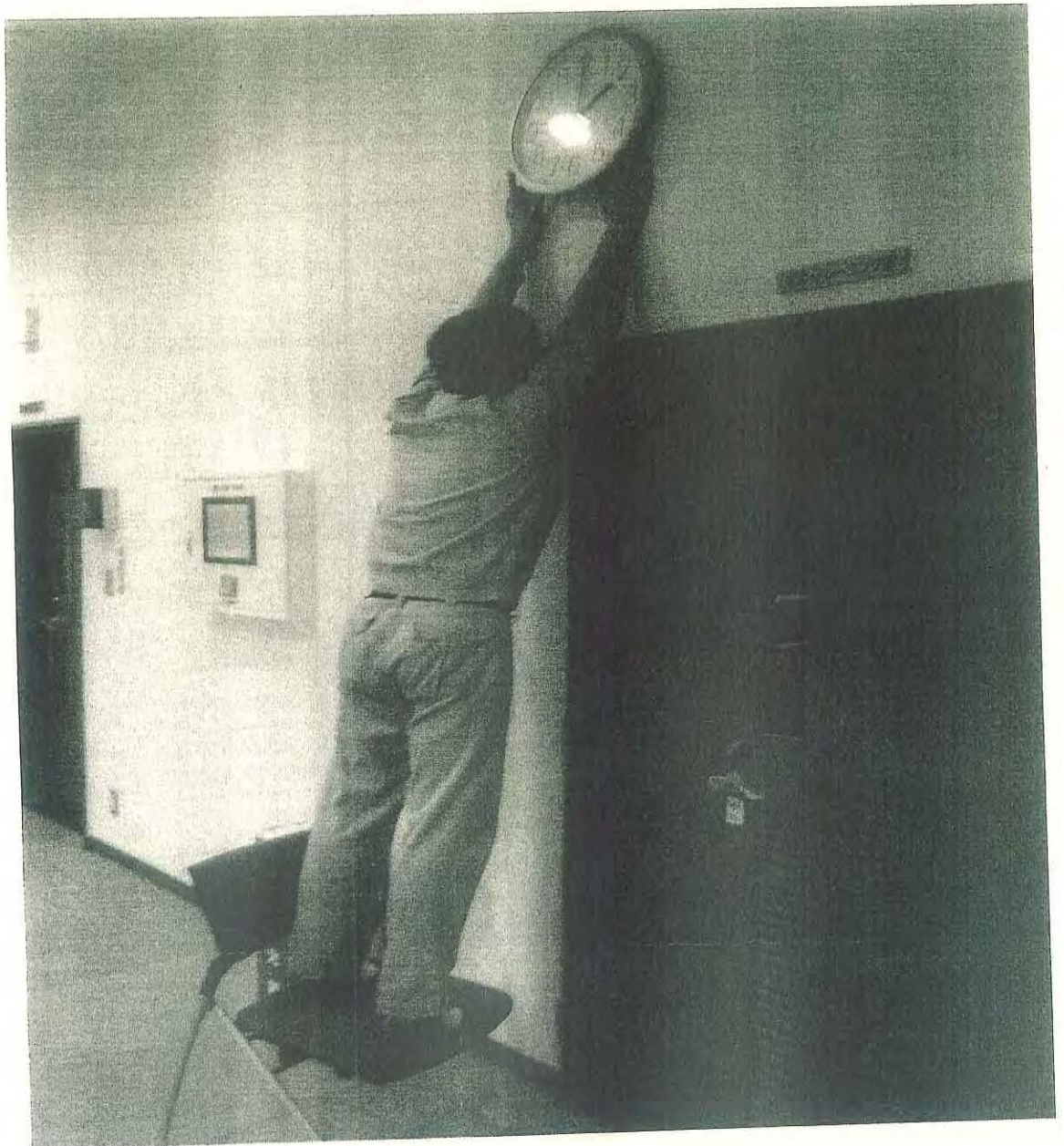
※イラストシート添付 (1)と(2)の枚数を記入してください。出来れば、最終の2枚にあげてください。  
 コメント: IRの所は、かなり良いです。抽出数としては10件以内はいい。1枚の書き方は、2枚に添えてもいい。3枚も良いです。もう1枚、2枚、具体的に記述してください。「2人作業」とは、「注意喚起」とは? ...です。

全体的に、ずいぶん良いなと思います。※IRは、引き続き、安全な行動と安全な状態を組み合わせることを常に心がけてください。いいことになっていくと思います。



4RKYTシート

## どんな対策が必要ですか



(状況)

- ・時計の電池交換の為、椅子を踏み台にして取り外し



危険予知訓練 4R

65

グループ名 (チーム名)	N)3-3 (G) A 班		
実施日	23 年 1 月 10 日	No.	1
第1ラウンド: 現状把握<どんな問題(危険)があるか>潜在危険を発見・予知し、「危険要因」とそれによって引き起こされる「現象」を想定する。 第2ラウンド: 本質追求<これが問題(危険)のポイントだ>発見したうち、「重要危険」に○印。さらに絞り込んで、特に重要と思われる「危険のポイント」に◎印。			
◎◎	No.	「危険要因」と「現象(事故の型)」、「対象部位(被災箇所特定)」を想定して「～なので～して～になる」というように書く 【注意】否定形「～でなく、～していないので」では書かない。抽象的な表現にならない。	
○	1	表示板を取付けようとして前のめりになりバランスを崩し脚立から転落する。	
	2	脚立の開き止めが外れ、脚立が開き、転落する。(どうして外れか腐食等記載して下さい)	
○	3	表示板のカドで手を切る。(具体的に記載して下さい)	
	4	表示板を壁下印びをはずす。(格差あり)	
	5	表示板を引、取付たつりばが外れておらず、板が落ち脚立に当たり、脚立が倒れる。	
◎	6	表示板の正面に脚立を持て、取付け時にバランスを崩し転落する。(通行人が踏む)	
	7	2Rの表示板を取ろうと飛びおし、壁をくじく。脚立の3段目が	
	8	取付けた表示板のフックが外れ、体に当たる。(何で足踏む?)	
◎	9	通行者表示板を通行人が踏んで転倒する。壁からはなれず通路の上に表示板を	
	10	作業終了後脚立を片付けるときに脚立で指を挟む。(置いていって)	
第3ラウンド: 対策樹立<あなたならどうする>「問題(危険)のポイント」◎項目を解決するための「具体的で実行可能な対策」を考える。 第4ラウンド: 目標設定<私たちはこうする>「重要実施項目」を絞り込み※印。さらにそれを実践するための「チーム行動目標」を設定する。			
◎印のNo.	※印	No.	具体策
6		1	脚立を二つめに動かして作業する → この対策OKです。
	※	2	表示板が正面に付くように位置で作業する
9	※	1	通行箇所には表示板を掛けない。3ラウンドを否定形にないで下さい
		2	壁に立てかけておく。 → この対策はOKです。
チーム行動目標 (～を～して～しようヨシ!!)			
脚立作業は正面で作業するようにし、通行箇所は物置かな!! よめたしやヨシ!!			
【確認】 指差呼称項目			
作業位置 正面 確認 ヨシ!!			
事務局 (環境・安全部)		部推進者	課推進者
リーダーおよびメンバー (リーダーの先頭に◎をつけてください)			
※イラストシート添付			
コメント 1ラウンドには不安全な状態があるとしたら不安全行動をしたときに どの様な事故になるか想定し具体的に表現して下さい			

危険、時子母とも基本的な考え方は指導して下さい。  
各Rのポイントを正確に表現と意図して下さい。

2011.2A 必須

どんな危険がひそんでいるか



### 状 況

あなたは、脚立を使って壁に表示板（縦80cm 横40cm 高さ2cm 重量2kg）を取り付けている。



引き金による安全帯の付加が原因で倒れ下りた。  
 何をしてあげたのか? と聞いてあげてくれ。危険予知訓練 4R  
 全員で取り組んでくれ。

65

グループ名 (チーム名)	K) 1-1	課(G)	B	G(T)
実施日	H23 年 2 月 27 日			No. /

第1ラウンド: 現状把握(どんな問題(危険)があるか)潜在危険を発見・予知し、「危険要因」とそれによって引き起こされる「現象」を想定する。  
 第2ラウンド: 本質追求(これが問題(危険)のポイントだ)発見したうち、「重要危険」に○印。さらに絞り込んで、特に重要と思われる「危険のポイント」に◎印。

◎◎	No.	「危険要因」と「現象(事故の型)」、「対象部位(被災箇所特定)」を想定して「～なので～して～」というように書く。 【注意】否定形(～でなく、～していないので)では書かない。抽象的な表現にならない。
	1	脚立として作業中 ストップが外れたので 脚立が開き転倒する <i>何で止まらなかったのか? (足踏の引き金に引っかか)</i>
	2	脚立として作業中 バランスを崩し 後ろへ倒れて 頭を打つ <i>何で止まらなかったのか? (当時何をしてたのか?)</i>
	3	作業に集中していたので 却立から足を踏み外して 台座で股間を打つ <i>何で止まらなかったのか? (指さす)</i>
○	4	表示板の角が鋭いので 板に添えた手をスライトさせた時 指を切る <i>どこの部分で手を添えたのか? (指さす)</i>
	5	表示板を取り付けた 壁板が剥けたので 巻き込まれて 脚立ごと転倒する。 <i>(今更には?)</i>
◎	6	通行人が却立に接触したため 却立が壁倒れ倒れて 壁のスクで目を突く <i>通行人が何をしてたのか? (指さす)</i>
◎	7	床が凸凹していたので 脚立として作業中 床を踏んで転落する。 <i>通行人が何をしてたのか? (指さす)</i>
	8	雨が降っていたので 床に置いていた表示板に 通行人が気づかず 足を乗せた時 滑って転倒する。 <i>通行人が何をしてたのか? (指さす)</i>
○	9	脚立のステップが変形していたので 昇降時足を滑踏み外し 膝を打つ
	10	手を滑らせて 表示板を落としたので 表示板が割れて 破片が飛び散って 目に入った。

第3ラウンド: 対策樹立(あなたならどうする)「問題(危険)のポイント」◎項目を解決するための「具体的に実行可能な対策」を考える。  
 第4ラウンド: 目標設定(私たちはこうする)「重要実施項目」を絞り込み※印。さらにそれを実践するための「チーム行動目標」を設定する。

◎印のNo.	※印	No.	具体策
6		1	作業エリアを通行止めにする。
		2	ゴーグル着用して作業する <i>作業現場の対策は? (指さす)</i>
		3	監視人を置いて 通行人の対策を行う。○
		4	二人作業で脚立を支える。○ <i>一人は?</i>
7		1	水平な部分に脚立を置いて使用する。
		2	表示板を取り付けた場所を 下に変更し 却立を使用しない。
		3	脚立の足元に 水平な板を置いて使用する。
	※	4	二人作業で脚立を支えて作業する。

チーム行動目標 (～を～して～しよう ヨシ!)

二人作業で脚立を使用し 支えよう ヨシ!

【確認】指差呼称項目

脚立固定 ヨシ! (もう少し具体的に どのようか)

事務局 (環境・安全部)	部推進者	課推進者	リーダーおよびメンバー (リーダーの先頭に◎をつけてください)
※イラストシート添付			

備考 11/13/23 現場より 既出し出来た11/13/23、1件1件の内容にこの危険な状況の文章を添えてお分かりの様に なるべく早く 既出し下さい。

第1ラウンド (～3項目あたりは 文を添えておいては ない) として 考えてほしいです。

メンバー全員が 同じ状況で 同じように 具体的に 文に 添えて ほしい。 4項目以降は OK です。

KI-1 2月 3日 実施

No.1 共通テーマ

どんな危険がひそんでいるか



### 状況

あなたは、脚立を使って壁に表示板（縦80cm 横40cm 高さ2cm 重量2kg）を取り付けている。



1Rは上長指導(通)振下すべし(今)一歩  
 振下すべし(通)振下すべし(今)一歩

危険予知訓練 4R

55

グループ名 (チーム名)	[Redacted]		
実施日	H23年 2月 26日	No.	シートNo 必修シート

第1ラウンド: 現状把握(どんな問題(危険)があるか) 潜在危険を発見・予知し、「危険要因」とそれによって引き起こされる「現象」を想定する。  
 第2ラウンド: 本質追求(これが問題(危険)のポイントだ) 発見したうち、「重要危険」に○印。さらに絞り込んで、特に重要と思われる「危険のポイント」に◎印。

◎◎	No.	「危険要因」と「現象(事故の型)」、「対象部位(被災箇所特定)」を想定して「～なので～して～になる」というように書く。 【注意】 否定形(～でなく、～していないので)では書かない。抽象的な表現にならない。
○	1	看板を持ち上げた時に、看板が重たいので、バランスを崩して、脚立から転落して怪我をする
○	2	脚立をまたがって立っているのに、看板を壁にかける際に脚立が揺れて、体勢を崩し脚立から転落する
	3	看板を持ち上げた時に、看板が重たいので、腰を痛める。
	4	一人作業で脚立にまたがっているのに、脚立が開き転落する
◎◎	5	看板を取付ける位置が高いので、看板を差し上げた時に、脚立が揺れて、バランスを崩し転落する
	6	脚立から下りるときに、バランスを崩して、脚立から転落して怪我をする
○	7	看板を脚立に落とし、体勢を崩し脚立から転落する
	8	通路を歩いている人が、通路に置かれた看板につまづき転倒する。(通路に看板を置くのは)
	9	脚立が壁から離れているので、看板を取付けるときに身を乗り出して、脚立と壁の間に転落する
	10	全作業 - 2分程度 (1分程度) の記録が <del>...</del> である

第3ラウンド: 対策樹立(あなたならどうする) 「問題(危険)のポイント」 ◎項目を解決するための「具体的で実行可能な対策」を考える。  
 第4ラウンド: 目標設定(私たちはこうする) 「重要実施項目」を絞り込み※印。さらにそれを実践するための「チーム行動目標」を設定する。

◎印のNo.	※印	No.	具体策
5	※	1	脚立が揺れないように、人に脚立を支えてもらって、作業する
		2	脚立を使用せず、足元の安定する足場台を使用して作業する
		3	看板を差し上げずに取付けられるように、十分な高さのある脚立を使用する
			この作業で「今の作業で、足元の安定を確保する」(この作業で)
			この作業で「足元の安定を確保する」(この作業で)
			脚立(足場)という道具の使い方に注意して作業する。

チーム行動目標  
 (~を～して～しよう ヨシ!)

脚立を人に支えてもらい脚立が揺れないようにして、高所作業をしよう

[確認] 指差呼称項目

脚立での高所作業は人に支えてもらおうヨシ

事務局 (環境・安全部)	部推進者	課推進者	リーダーおよびメンバー (リーダーの先頭に◎をつけてください)
※イラストシート添付			

備考 行動、10分以内に2分程度の見直しを1分程度の2分程度見直し  
 2分程度の見直しを1分程度の2分程度見直し

動きを止められる要素を小さくしてしまおう。

k1-2.

どんな危険がひそんでいるか



### 状況

あなたは、脚立を使って壁に表示板（縦80cm 横40cm 高さ2cm 重量2kg）を取り付けている。



65

グループ名 (チーム名)	[Redacted]		
実施日	2011年 2月 8日	No.	2/3
第1ラウンド:現状把握<どんな問題(危険)があるか>潜在危険を発見・予知し、「危険要因」とそれによって引き起こされる「現象」を想定する。 第2ラウンド:本質追求<これが問題(危険)のポイントだ>発見したうち、「重要危険」に○印。さらに絞り込んで、特に重要と思われる「危険のポイント」に◎印。			
◎	No.	「危険要因」と「現象(事故の型)」、「対象部位(被災箇所特定)」を想定して「～なので～して～になる」というように書く。 【注意】否定形(～でなく、～していないので)では書かない。抽象的な表現にならない。 <「クビ」は「クビ」か?>	
○	1	表示板を掛ける位置が高いので、背伸びをして掛けようとしてバランスを崩し、脚立から転落する。	
◎	2	表示板を掛ける位置と脚立の位置がずれているので、表示板を掛けようとしてバランスを崩し、脚立から転落する。	
	3	表示板が重いので、掛けようとした時に腕が疲れて表示板を落とす。	
	4	表示板の角が尖っているので、手が当たった時に手を切る。	
	5	表示板を掛ける位置が高いので、天板に乗って掛けようとして、足場が狭いために脚立から転落する。	
○	6	表示板を通路に置いているので、通行人が躓いて転倒する。	
	7	脚立のステップが狭いので、昇降時足を踏み外してすべり落ちる。	
	8	脚立の位置が壁に近いので、表示板を掛ける時に後ろのめりになり、後方に転落する。	
○	9	屋外作業で風が強いので、表示板ごとおおられて転落する。	
	10	表示板の持ち方が悪いので、表示板が手からすべり落ちて通行人に当たる。	
◎	11	表示板を持っているので、脚立をのぼる時に体をうまくささえられずに転落する。	
第3ラウンド:対策樹立<あなたならどうする>「問題(危険)のポイント」◎項目を解決するための「具体的に実行可能な対策」を考える。 第4ラウンド:目標設定<私たちはこうする>「重要実施項目」を絞り込み※印。さらにそれを実践するための「チーム行動目標」を設定する。			
◎印のNo.	※印	No.	具体策
2	※	1	表示板を掛ける位置の正面に脚立を置く
		2	二人作業で脚立を支える。
11	※	1	二人作業で脚立を支えてのぼり、のぼってから表示板を渡す。
チーム行動目標 (～を～して～しよう ヨシ!)		表示板を掛ける位置の正面に脚立を据え、二人以上で作業しよう ヨシ!	
[確認] 指差呼称項目		『二人以上で脚立作業ヨシ!!』	
事務局 (環境・安全部)		部推進者	課推進者
		リーダーおよびメンバー (リーダーの先頭に◎をつけてください)	
※イラストシート添付			
コメント "1メートルは一命取る"と言われます。脚立や踏み台を使って作業する場合は、作業方法に無理がないか今一度確認するようお願いいたします(浅野)。 1Rで、様々な箇所の危険要因が抽出されました。対策も妥当だと思います。(浅野)			

どんな危険がひそんでいるか



### 状 況

あなたは、脚立を使って壁に表示板（縦80cm 横40cm 高さ2 cm 重量2 kg）を取り付けている。



1R板の高さありですか  
11118号11.2 ます!

80

### 危険予知訓練 4R

(脚立の1階段が足さず)階段の間に足をかけたため

(同じ脚立の位置で複数の板を掛けようとした)

→ 1Rで脚立がぐらつくのを? →

グループ名 (チーム名)	脚立を中央位置に置いた...		
実施日	2011年 2月 28日 (月)	No.	201102-2

第1ラウンド: 現状把握(どんな問題(危険)があるか)潜在危険を発見・予知し、「危険要因」とそれによって引き起こされる「現象」を想定する。  
第2ラウンド: 本質追求(これが問題(危険)のポイントだ)発見したうち、「重要危険」に○印。さらに絞り込んで、特に重要と思われる「危険のポイント」に◎印。

◎◎	No.	「危険要因」と「現象(事故の型)」、「対象部位(被災箇所特定)」を想定して「～なので～して～になる」というように書く。 【注意】否定形(～でなく、～していないので)では書かない。抽象的な表現にならない。
○	1	脚立の近くに別の板を置いていたので、脚立から下りた際に足を板に引っ掛けバランスを失って転倒する。
◎	2	壁と脚立が離れているので、板を取り付けようと前かがみになった際に脚立が前に傾き、転落する。 <i>good!</i>
○	3	凹凸のある地面の上に脚立を置いたので、脚立に登ろうとしたときに脚立がぐらついて転落する。
○	4	板が上からぶら下げられているので、強い風が吹いたときに板がめくれあがり作業者にぶつかる。
○	5	板を両手で持ったまま脚立に登ろうとしたので、脚立がぐらついた時に体を支えられず脚立から転落する。
○	6	脚立の正面から横に離れた位置に板を取り付けようとしたので、姿勢が崩れて腰を痛める。
○	7	道路いっぱいに作業スペースをとっているため、通行人が気がつかずに脚立にぶつかり作業者と接触する。
◎	8	地面に板を置いていたので、板を持ち上げた時に板の上の砂が眼に入る。
○	9	手に汗をかいていたので、板をかけようとした際に滑って板を落とし、近くを通行していた人に当たる。
○	10	脚立の両面に足をかけているので、下りる時に足が脚立にあたり、足をとられ転倒する。足は片側1人ずつしか付かない
○	11	幅の狭い脚立を使ったので踏み外し転落する。 どうしたときに? 離れ(足)に板を1つかけると姿勢を崩し出しに

※1で作業し

第3ラウンド: 対策樹立(あなたならどうする)「問題(危険)のポイント」◎項目を解決するための「具体的に実行可能な対策」を考える。  
第4ラウンド: 目標設定(私たちはこうする)「重要実施項目」を絞り込み※印。さらにそれを実践するための「チーム行動目標」を設定する。

◎印のNo.	※印	No.	具体策
2	※	1	脚立を作業しやすい適切な位置に置く。 <i>どこ? 具体的には位置を指定する。</i>
		2	ステップの幅が広い脚立を使用する。 <i>経験豊富な人はどのくらい適切な位置か(高さ)まで。</i>
		3	脚立を支える人と作業者の二人作業。
		4	脚立は平坦な場所に設置する。
8	※	1	板を持ち上げる前に板の状態を確認し、砂等を落とす。 <i>これには新しい危険が</i>
		2	板に砂がかからないように養生する。
		3	十分な高さの脚立を使う。(目の上に板を持ち上げないですむ高さ) <i>8の対策? 上の対策が...</i>
		4	保護眼鏡を着用する。(保護眼鏡)

チーム行動目標 (～を～して～しよう ヨシ!)

作業前に脚立と板の状態を確認し、脚立は作業しやすい適切な位置に置こう、ヨシ!

【確認】指差呼称項目

脚立の位置確認、ヨシ! *1Rで板の高さあり 正しいのます!*

事務局 (環境・安全部)	部推進者	課推進者	リーダーおよびメンバー (リーダーの先頭に◎をつけてください)
※イラストシート添付			

備考 [安管コメント]  
モノ(脚立、板)と作業姿勢の両面から危険要因を良く抽出いただいています。屋外や通行のある場所では二人以上の作業とし、下の人が周囲や板の状態を確認した上、脚立上の作業者に手渡すようにしましょう。  
板を降ろす際は深く掘り下げてください。通行人「十分な」という意識が大切です。どうすればこれを満足できるか安全対策の鍵に守ってください。ヨシ!

どんな危険がひそんでいるか



### 状況

あなたは、脚立を使って壁に表示板（縦80cm 横40cm 高さ2cm 重量2kg）を取り付けている。



40

# 危険予知訓練 4R

例では部下に  
Aから上へバラエツで  
から守るにはどうしてと  
まじり事故で回避性  
してはうが  
前には  
Aから上へ  
まじり  
Aから上へ  
まじり  
Aから上へ  
まじり  
Aから上へ  
まじり

グループ名 (チーム名)	
実施日	2010年 2月 25日 No. 2011_02_1

第1ラウンド: 現状把握(どんな問題(危険)があるか)潜在危険を発見・予知し、「危険要因」とそれによって引き起こされる「現象」を想定する。  
 第2ラウンド: 本質追求(これが問題(危険)のポイントだ)発見したら、「重要危険」に○印。さらに絞り込んで、特に重要と思われる「危険のポイント」に◎印。

◎◎	No.	「危険要因」と「現象(事故の型)」、「対象部位(被災箇所特定)」を想定して「～なので～して～になる」というように書く。 【注意】否定形(～でなく、～していないので)では書かない。抽象的な表現にならない。
◎	1	脚立上でバランスを崩して、転落する。 (バランス = 崩す 要因が...)
○	2	表示板を取り付ける際、変な姿勢になり腰を痛める。 (具体的に! 背伸びをして「前かがみ」)
◎	3	床に放置している表示板に、通行者が躓いて転倒する。 (否定形 X)
○	4	表示板を取り付けるフックの固定が不十分で、フックが外れて表示板が落下し通行者に当たる。
○	5	脚立の止め具が壊れていて、脚立が倒れて転落する。 (否定形 X)
○	6	表示板の角が尖っているところで手を切る。 (どの様な行動をしたときに手を切ったのかを考へよ!)
◎	7	表示板を持つ手が狂い、表示板が落下して足に当たり怪我をする。 (手が「狂った」のかを考へよ!)
○	8	地震が発生して、脚立から転落する。 → 天災は含めな...
○	9	表示板を持つ手が狂い、表示板が落下して通行者を直撃し怪我をする。 (手が「狂った」のかを考へよ!)
○	10	表示板をフックに掛け損ない、表示板を受け取ろうとした反動で脚立から転落する。 (手が「掛けた」のかを考へよ!)

第3ラウンド: 対策樹立(あなたならどうする)「問題(危険)のポイント」◎項目を解決するための「具体的に実行可能な対策」を考える。  
 第4ラウンド: 目標設定(私たちはこうする)「重要実施項目」を絞り込み※印。さらにそれを実践するための「チーム行動目標」を設定する。

◎印のNo.	※印	No.	具体策
1	※	1	補助者を付けて作業する。 (補助者の行う作業は?)
		2	適度な大きさの足場を使用して作業する。 (適度な大きさとは?)
		3	脚立ではなく、平板の広い踏み台を使用して作業する。
3		1	補助者を付けて作業する。
		2	床上の表示板周囲にパイロンを設置し、通行者を排除する。
	※	3	表示板を壁側に移動し、通行者の移動範囲を確保する。
		4	表示板を専用のケースに保管し、床上に放置しない。
7	※	1	表示板を支える補助者を付けて作業する。
		2	専用の固定治具を使用して、手を離しても落下しないような工夫をして作業する。 (具体的に!)
		3	表示板の取り付け方法を、高所で各々取り付けなくても良い方法に改善する。 (この指示? 実作業でできるのか?)

チーム行動目標 (～を～して～しよう ヨシ!)

具体的 = 5Sを守り、単独作業は止めよう、ヨシ!! (具体性が無い)

[確認] 指差呼称項目 脚立作業時は、補助者を付けよう、ヨシ!!

事務局 (環境・安全部)	部推進者	課推進者	リーダーおよびメンバー (リーダーの先頭に◎をつけてください)
-----------------	------	------	------------------------------------

※イラストシート添付

備考  
過去の4R-KYT報告書のコメントや環境安全部が公表している各部署の4R-KYT添削を確認して、ラウト1の抽出方法を訓練下さい。

必要なら指導(まじり)し、検討下さい。是非で指導下21、基本が出来た後は... (まじり)し、検討下さい。

どんな危険がひそんでいるか



### 状 況

あなたは、脚立を使って壁に表示板（縦80cm 横40cm 高さ2cm 重量2kg）を取り付けている。



IR、所定の抽出から選んで良いです。

危険予知訓練 4R

good.

*(Handwritten signature)*

足立と脚立が混同されているので

グループ名 (チーム名)	[Redacted]			No.	2011.02月必須
実施日	2011年	02月	22日		
第1ラウンド: 現状把握(どんな問題(危険)があるか)潜在危険を発見・予知し、「危険要因」とそれによって引き起こされる「現象」を想定する。 第2ラウンド: 本質追求(これが問題(危険)のポイントだ)発見したうち、「重要危険」に○印。さらに絞り込んで、特に重要と思われる「危険のポイント」に◎印。					
◎	No.	「危険要因」と「現象(事故の型)」、「対象部位(被災箇所特定)」を想定して「～なので～して～になる」というように書く。 【注意】否定形(～でなく、～していないので)では書かない。抽象的な表現にならない。			
○	1	表示板を取り付ける作業が連続し、(表示板が重い)腕に負荷がかかり肘を痛めた。			
◎	2	一人作業の為、壁に取り付けようと、身を乗り出し姿勢を崩し転倒した。①と②がかりません 50%減らす。			
○	3	脚立の後ろに表示板があり通行人が通りかかった時、気づかずに足を取られ転倒する。			
○	4	表示板が重いので板を持ち替えた時、通行人が偶然通りかかり落下した板に当たり頭を打つ。			
○	5	表示板を取り付け時、引っ掛ける穴が作業場所の中央にないので無理をし、身を乗り出した時、姿勢を崩し転倒する。 good.			
○	6	表示板を取り付けた時、壁に表示板の重さと体重がかかり壁と一緒に転倒する。壁を倒れる想定で(どうか?)			
○	7	脚立で作業していた時、汗で足場が濡れ姿勢を変えた時に滑り転倒する。→ 足場の現実的な原因を 6まで減らす?			
○	8	表示板が大きい為、視界(死角)が無くなった状態で脚立の段を変えた時に踏み間違え転倒する。→ 状況がよくわかる。			
○	9	表示板を取り付け時に静電気で衝撃を受けた時、手を無理やり引き姿勢を崩し転倒する。→ 静電気がたまった原因が不明。			
○	10	表示板を持って脚立を登ろうとした時、脚立に一方の重量がかかり脚立が転倒し脚立から落下した。			
○	11	表示板を持って脚立を登ろうとした時、脚立の足場が凹んでいて脚を乗せた時、姿勢を崩し転倒した。			
○	12	脚立の固定時具が外れている状態のまま、昇った時に足が(脚立の)開き転倒した。後ろ向きに降りるの2"~			
○	13	(脚立上の作業が終了し)脚立から降りようとした時に足を踏み外し転倒する。～なので(不安定な状況)を想定しよう			
○	14	壁の固定金具が外れ(故障・老朽化)表示板が落下し、指を挟まれた。なぜ外れた? (表示板が重いのか? 74kgの重さが付いてる?)			
第3ラウンド: 対策樹立(あなたならどうする)「問題(危険)のポイント」◎項目を解決するための「具体的に実行可能な対策」を考える。 第4ラウンド: 目標設定(私たちはこうする)「重要実施項目」を絞り込み※印。さらにそれを実践するための「チーム行動目標」を設定する。					
◎印のNo.	※印	No.	具体策		
		1	2人作業で、「壁に取り付ける人」と「床から表示板を渡す人」に作業を分担する。		
		2	脚立が転倒しないように脚立を(持ち)サポートし作業をする。		
	※	3	表示板の取り付け位置を、脚立の中央になるように移動させ作業をする。逆は?		
2		4	壁と脚立の幅を作業しやすい位置に移動させ作業をする。脚立の位置と表示板の取付位置の中央へ移動?		
		5	表示板を吊り上げ式の板に改造する。(脚立作業をさせない)		
			→ 今年に近づいた器具の半分ぐらいはいいのかな! 具体的改善の対策をしよう。		
チーム行動目標 (～を～して～しよう ヨシ!)		脚立を移動して身体の中央で作業をしよう ヨシ!			
【確認】 指差呼称項目		脚立の位置 よし! → 現場作業に個人差が生じるため、「取付け位置、脚立正面、ヨシ!」で 指差呼称(位置を指さす)を明示し、足元/bottom? どうしていい?			
※イラストシート添付		事務局 (環境・安全部)	部推進者	課推進者	リーダーおよびメンバー (リーダーの先頭に◎をつけてください)
備考		[Redacted]			

指差呼称の対策をしよう

どんな危険がひそんでいるか



### 状 況

あなたは、脚立を使って壁に表示板（縦80cm 横40cm 高さ2cm 重量2kg）を取り付けている。